パンフレットも完成しました！

福祉みんな食堂
新しい障がい者雇用。新しいCSR。

2019.3月版

貴社の障がい者雇用の「雇う」と「はたらく」をしっかりサポート

障がい者が地域活性化の担い手に

勤務地は地域の福祉食堂

勤怠レポートを毎月郵送

こども・高齢者の孤食を防ぐ社会貢献

3カ月に1度定期面談

福祉専門家が社員のメンタルヘルスを支援

事務訓練で処理能力アップ

雇用人材はいつでも御社に勤務が可能

地域支援で対人力アップ

福祉みんな食堂
新しい障がい者雇用。新しいCSR。

＼ 正しく知って、今すぐ対応！ ／

障がい者雇用の現実

1 採用、面接、仕事づくり。省庁や企業も、障がい者雇用に難しさを感じています。

障がい者雇用水増し3,460人 国の機関の8割

中央省庁が雇用する障がい者数の水増し問題で、厚生労働省は、計3,460人分が国のガイドラインに反して政府に算入されていたと発表した。障害者数の約半分が水増しだったことに。雇用の旗振り役である中央省庁自らが数値を偽っていたことになり、制度の信頼が大きく揺らいでいます。

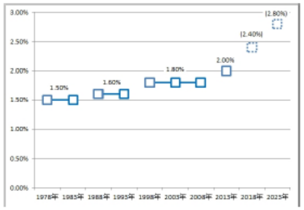
（日本経済新聞／2018年8月掲載）

2 今後も引き上げられつづける法定雇用率。2020年末までに、民間企業は2.3%に。

18年4月、法定雇用率の引き上げ

身体障がいと知的障がいに加えて精神障がいも含めた計算になり、民間企業は2.0％から2.2％、国や地方公共団体は2.3％から2.5％に引き上げられました。

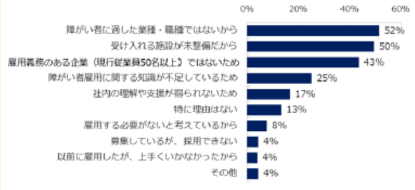
（2018年4月、厚生労働省）



企業の現実

企業の障がい者雇用の悩み

社員の障がい者雇用の知識不足、受け入れる施設の整備………etc



出展：エンジャパン「障がい者雇用実態調査2018」

企業から届く、たくさんの「ギモン」って？

「どうやって採用するの？」

「採用後にどんな仕事を切り出したらいいの？」

「障がい者を指導する社員にかかるコストはいくら？」

福祉みんな食堂

新しい障がい者雇用。新しいCSR。

＼貴社の障がい者が、地域を支援！／

福祉みんな食堂

御社が雇用した障がい者が、社会貢献の担い手に！

① 企業の障がい者雇用の課題を、福祉の専門家がヒアリング

雇用すべき人数は？　社内の障がい者理解は？　障がい担当者をどう配置すべきか？

② 採用・面接を完全サポート

給与・時間の条件整理　福祉機関と連携、人材を選出　面接に同行、採用をサポート

③ 採用した障がい者は、本社でなく「地域食堂に勤務」

企業の地域支援の担当者として、地域の食堂で調理・その他を担当。食堂スタッフとして地域を活性化。

④ 御社のスタッフとして地域活性化に継続的に貢献

- 障がい者を雇用することで、企業CSRを実現！
- 多世代との関わりが、社会人基礎力が総合的に向上！
- 採用企業・地域社会への障がい者理解がUP！

地域のの現実

単身高齢者が直面する課題　地域食堂が高齢者にできる社会貢献って………!?

「独居の18%が１日２食以下」

「独居の45%が栄養バランスが悪い」

「一人暮らしの高齢者はほぼ孤食、楽しみながら食事をするのが必要」

出展：内閣府「2014年版高齢社会白書」

福祉みんな食堂

新しい障がい者雇用。新しいCSR。

従業員の勤務状況が常にわかる

詳細レポート＆定期面談

従業員の勤怠状況・メンタルバランス・スキルや成長の状況を一括管理。
御社の人事担当者様に定期的にご報告し、面談のサポートも進めてまいります。

１カ月に１回、従業員本人が記入した日報をご郵送！

勤怠管理＆レポート

- 勤怠状況
- 得意と不得意

１カ月ごと　レポート送付

独自の勤怠シートを活用。詳細状況をお知らせします。

３カ月に１回、御社に伺い、従業員との面談をサポート！

従業員との定期的な面談

- 社会人基礎力チェック
- 短期目標の達成度

３カ月ごと　面談

アクション、シンキング、チームワークの成長度を報告。

2025年に向けて、大阪を世界に誇れる障がい者雇用の先進地域に！

大阪万博を大きな目標に

法定雇用率の達成　障がい者理解の促進

企業の力で、障がい者雇用のイメージをプラスに！

社内の受け入れ体制づくりを応援！一年後には貴社で働ける人材に育成！

一年間での成長を目指す

社会人基礎力の養成　ビジネスマナー向上

障がい者雇用の専門家が、貴社の職場づくりをアドバイス！

Q「費用」はどうなるの？

A はい。次の３つのとおりです。詳しくお話させて頂きますので、ご連絡を！

① 採用決定時の成功報酬（採用決定時のみ）　②従業員に対する給与（毎月）＋ ③従業員育成のための費用（毎月）

補助金を活用し、障がい者雇用時のリスクを軽減する方法もご提案が可能です。

"福祉みんな食堂" に関するお問い合わせ

総合案内	平日（10:00～17:00）
携帯電話・一般電話から	電 話　06-6226-7993 FAX　06-6226-7998
メールから	otayori@chura-cube.com
ホームページ	http://give-and-gift.jp

株式会社ＧＩＶＥ＆ＧＩＦＴ・ＮＰＯ法人チュラキューブ

〒558-0023　大阪市住吉区山之内２－４－１２　丸池文具ビル

福祉みんな食堂は、2018年８月にスタートした取り組みです

◆過去に掲載されたマスコミ媒体

YAHOO! JAPAN ニュース　讀賣新聞　毎日新聞　大阪日日新聞　朝日新聞　NHK　大阪府